

1	名古屋市の方などと共に有意義な時間を過ごせ、ありがとうございました。	天白	A
2	・「道路をつくらないことに決まっている」と何度も言われたので、ちょっと安心したのだが、土木交通委員会の様子や「横断幕」を見ると安心してはいけないと思う。 ・「道路廃止は決まっているのに、過去の工事の経緯(どのような考え方で道路を計画したか)なんて話を今さら聞かされても・・・」と思ったけれど、そうでもなくて、より具体的に現地を見ながら説明されて、(もやもやした部分もあるので)よりクリアーに、この問題を考えることができるような気がしてきた。	瑞穂	B
3	市長の「公園ありき」の考え方のため、それに沿って道路活用の計画。相生山をこのまま自然のままという意見は、今は市長に提出できない？	緑	C
4	「相生山に道路をつくる 公園をつくる」小さな地区の問題ではなく、名古屋市の市民に、残された大切な自然を失うかどうかの問題。自然を大切に！という世間の大きな流れは止められないと思います。建設済み部分の「維持費」についての質問がありましたが、大きな問題ですね。今まで余りにしなかったので・・・。市が本当に真剣に未来の相生山に向き合っているのか、今日の「伝えましょれども・・・」の言葉に集約されていると思います。直接伝えたい相手と向き合いたい！もどかしい！	名東	D
5	これから進める園路について説明受けただけで、それに向かって進めるのでしょうか。意見交換になっていなかった。	昭和	E
6	・道路建設課の人の説明で「今はつくる部署はなくて過去の話として聞いて欲しい」と、この言い方は初めてだった。「着手はしているが完成しているところは0」という説明で、あーそうなんだと妙に納得してしまいました。これからは人にそう説明していこうと思った。 ・「ふれあいの丘への園路」は、どう考えても自然を壊さずにつなぐということは無理だと思う。「どうつなぐか検討している」という話だったが、どうつなぐのか？ ・着手部分は意外と傷みもなくて、あと10年くらいは大丈夫そうだ。道路をつくって欲しいという人がいる限り、まだまだ先は長い様に思った。	南	F
7	名古屋市のつくるものが垢抜けないとわれがちです。戦後の武蔵野の雑木林の保全やお庭のように、あるいはドイツなどヨーロッパの森への意識のように、又は今流行りの自然の中に佇むアマンホテルのように、世界中からみてもハイレベルなセンスの良い雰囲気なら、きっとわざわざでも出かけたくなる林になり、雑木林を大切にしようとする若い人も意識し始めるのでは、と思いながら参加しました。 いずれにしても、次世代に雑木林の美しさ、心地よさ、健全さ、平和さ、みんな仲良く明るく穏やかさ、伝わるように、と願っています。	緑	G
8	・相生山現地での意見交換会に参加しシェルター構造部等を歩いて感じたことは、森を傷つける取り返しのつかないものが作られているということ。 ・自然を大切にしなければいけないと中止した道路なら、園路を繋いで森に車を通すなど考えられないことと思います。 ・作った道路を活用するとしたら、歩道として森へのアプローチとし、トイレ等をその付近に作れば良いのではと思います。	市外	H
9	お天気も良く、久しぶりの森の中は心地好くて、市の役人さんの本音みたいのもチラッと見えて、大事な問題をいろいろ考えなければならないのだけれど、なにか楽しくなりました。	南	I
10	・工事が中止された道路を歩いてみて、河村市長の決断は本当に良かったと思いました。今ここに道路ができていて、車がビュンビュン通っていたらと想像するとゾッとします。 ・これからは、開発よりも今あるものを大切にしていける時代ではないでしょうか。 私達の心を癒してくれる緑豊かな相生山緑地なので、自然を壊さず大切に守っていかなければいけないのではないのでしょうか。	市外	J

11	<p>当初から賛否あったのに見切り発車、つくり続けられ、とても残念です。森は自然循環システムがあり、少しの手間で保たれ、苦情も少ないです。〇〇億も投資したから活用せねば・・・ではなく、英断したのはなぜか。100年200年という長い視野で激変する未来を想像して考えるべきだと思います。少子高齢化はどんどん進み、災害被害の広がり、社会福祉費は増大するのに、若者、労働者は少なく先細り。今ある管理、維持だけでも大変です。例えばシェルター横の片道道路、ホテル時期を考えても、広い車道でなければ自転車も歩道を走りたい。歩行者・自転車・車イス・乳母車・行く人帰る人、それぞれがごちゃごちゃに通る。考えても恐いです。すべてできてからでは遅い。市道、ふれあいの丘、公園などになれば維持管理だけでなく苦情も一気に増え、第二の夕張になりかねません。森のダメージも進みます。AI、IoTが、少ない労働者に指示する(?)のような近未来、ほっとしたいのには、今のままの相生山ではないでしょうか？</p>	昭和	K
12	<p>現地での意見交換会が提案されてきたのは、頭の中で「自然」とか「環境」とかを考えるのではなく、実際に体感することから始めたいという意図が強く働いていたと思う。また、「素案」の実現性を確認することも必要だったかもしれない。名古屋市の「説明」は、これまでの「道路見学会」のノウハウを使った「過去」のふり返りが大部分を占めていたと感じた。現地で「これを活用したい」と強調せず「過去」と言い切ったのは前進面と思った。稲田口付近から「ふれあいの丘」への高低差、コースの急角度は改めて非現実的「園路」を実感した。市長の言葉に忠実に「建設済み部分を活用」「下山畑から久方をつなぐ」「園路が道路ととられないように」を実現しようとすれば、「ふれあいの丘」を想定して既定の「道路予定地」を外す苦肉の「素案」を登場させるしかなかったのだろう。けれども、そうすると最も基本の「自然を大事に」が欠けてしまう。自然環境調査を実施して「影響の少ない」所を探してみてもムダな努力だ。なぜならこの未着工部分のエリアは相生山緑地のコア部分。どこをどうしても「環境に配慮した道路」以上な「自然を大事にした公園」などできない。調査データを改ざんする以外には。そんなことを改めて考えさせられた1日だった。それでも、当初の提案の趣旨に沿った「相生山の自然を体感する」ことは多少なりとも実現できたのではないか。天候にも恵まれた秋の樹林のひとつ。緊張して主催する名古屋市の職員も含めて、参加者の誰もがやわらかで楽しそうな雰囲気次第になっていったのは、それこそ自然の力、と言ったら言い過ぎだろうか。さて、こんな中で「道路完成」の幕を張り、顔をこわばらせていた人びとは何を思って家路についたのだろう。</p>	天白	L
13	<p>道路の完成を要求している人たちには、名古屋市の将来像と結びつけて「この道路の必要性」を語っていただきたいと思います。</p>	緑	M
14	<p>上空をハイタカがガラスに追われている最中に、説明会がはじまった。五年程前にも、説明を受けたが、今回の方がより、親切、丁寧だった気がする。説明会の終わり出口近くで鷹の羽が落ちていた。この森を餌場に行っているのだろうか。やはり、この森を大切にしなければ。</p>	昭和	N
15	<p>初めてシェルターの中を通り、下から見上げました。上に立っている時は思いませんでしたが、随分と薄っぺらく、華奢ですね。植えられた木が大きくなってきたら心配です。</p>	緑	O
16	<p>・夜のアヒルボタルにはよく来ますが、昼の相生山を歩くことはめったにないので、改めて良いところだなあと。東京に比べて名古屋は緑が少ないと言われるし、大事にしたいです。大がかりな整備も必要ないです。イベントなんかもやらず、静かに散歩できるような森として残したい。 ・道路建設をする部署もなくなったというのに、市議会の方で請願があって、道路をつくるという話が出てくるのはおかしいと思います。あれだけいろいろ調査したり検討して決めた結果なのに、今更。それこそがムダ。 ・つくってしまった道路の上を歩きましたが、いろいろ考えれば良い案も出ると思うので、長い年月のうちに土砂崩れとかの心配がないのなら、有効活用するのもいいと思いました。</p>	天白	P
17	<p>公園計画には賛同できません。ゴミ、火災、車の排気ガスなど植物には良くない要因が発生するからです。</p>	市外	Q
18	<p>たくさんお金をかけて立派なものつくって、もったいない。自然を壊してもったいない。つくったものももったいないけど、これ以上自然を壊さないために、ここで止めるのは仕方のないことだ。</p>	昭和	R